

博物館・歴史資料館だより

『森の文化博物館』「案内

十一月広報に続いて、森の文化博物館の案内をします。前号では、森の祭りコーナーでしたが、今回は春日地域の人々が自然を生かし、自然と共に生きた証を紹介します。

●薬草の森のコーナー

伊吹山麓に位置する古屋、笹又地区では質の良い薬草が採取でき、各戸で加工された百草や甘茶、その他の薬草を村外に売り出していました。

薬草の採取方法や加工の様子を撮影した写真パネルや薬草植物写真などで薬草を知ることができます。

薬草の仲買人小寺甚五郎は秋になると、各戸で加工した薬草を買い付け、運搬人が「セタ」で背負って峠を越えたのです。館内には仲買人が記入した「買入帳」・「売上帳」が展示してあり、彦根・長浜・尾張方面に行商に出かけた様子をうかがうことができます。



春日村伊吹薬草組合発売「伊吹百草湯」のポスター

●炭焼の森コーナー

昭和初期の世界経済恐慌の中で春日地域の主な収入源は木炭、繭、お茶でしたが暴落し、村民は窮乏しましたが当時の村長駒月巖氏は伊吹薬草組合を設立し、薬草生産の振興と販路拡大に尽力された姿をうかがうことができます。

博物館内に炭焼竈と炭焼職人の居住小屋が再現されています。とくに、炭焼竈は博物館建設に合わせ実際に使える竈が設置され、炭焼職人の住居小屋も設置してあります。



博物館内に再現された炭焼竈

炭焼職人の居住小屋は、風雨をしのぎ寝食と炭俵詰め作業などが可能な広さで、丸太材と萱で覆った小屋です。木炭原木伐採の刃物類や木炭原木と木炭の標本が展示され、原木を運び出す木馬や炭俵詰めに必要な用具も見ることができます。



炭焼職人の居住小屋の内部
(かまど・炭俵・秤などあり)

このように「森の文化博物館」は森と暮らす人々の歴史と叡智を体感できる博物館です。ぜひ、お訪ねください。

森の文化博物館イベント

【森の音楽会】

—フルートとピアノの演奏—

■日時 平成十七年十二月三日(土)

午後一時三〇分〜三時

■会場 揖斐川町春日振興事務所内

五階大ホール

・演奏フルートアンサンブル・ラルゴ
指揮者 戸本敏明さん

・岐阜県交響楽団ファゴット奏者

・岐響ジュニアオーケストラ指揮者

ふるさといびがわ再発見!

「揖斐川町の祭り・踊り調査事業」平成十七年度中間報告会および講演会(町教育委員会主催)が、去る十一月三日、谷汲文化会館で開催されました。

中間報告会では、事業の調査結果に基づき、揖斐・久瀬・藤橋地区で行われている伝統の祭りや新しい祭りを例に挙げながら、その変遷や地域の人々の関わり方などが発表されました。

その後、「マツリ文化を考える」と題して、京都産業大学教授 所功先生(小島在住)による講演がありました。

文化を支えていくのは、地域のわたしたちにほかならないことを、中間報告会と先生ご自身の経験や学識を織り交ぜながら、大変分かりやすく興味深くお話いただきました。

町では来年度も事業を継続し、その成果を「郷土読本」として出版してふるさとの教育に活用します。

